

第6回 樟蔭ファッションセミナー

モダンなチャイナドレスの魅惑「近代」上流の「伝統」とファッション



シャレイ
謝黎

文化人類学・放送大学非常勤講師

2008年 1月26日(土)

14:00~16:00 (開場 13:30)

大阪樟蔭女子大学(小阪キャンパス)円形ホール

大阪樟蔭女子大学

URL <http://www.osaka-shoin.ac.jp>

■申込み・問合せ先

被服学科・樟蔭ファッションセミナー事務局

Tel/Fax 06-6723-8227

お申込みは電話・FAXまたはメール (fashionseminar@osaka-shoin.ac.jp) で、1月24日(木)までをお願いします。

平成 19 年度 大阪樟蔭女子大学 公開講座 第6回 樟蔭ファッションセミナー

主管：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科

日本で唯一、服飾から化粧やヘアスタイルまでファッション、すなわち装うことのすべてを学べる大阪樟蔭女子大学被服学科では、2006年より3ヶ月ごとに樟蔭ファッションセミナーを開催しています。

ファッションの着る楽しみ、デザインし科学して創る楽しみ、あるいはメイクやヘアスタイルで変身するといったおもしろさを味わうだけでなく、ときには知的好奇心をくすぐる最先端の情報に接することでファッションに対する多様な見方、考え方を学んでいただければ幸いです。

ファッションに美的かつ知的なセンスが要求される時代です。ふるってご参加下さい。

モダンなチャイナドレスの魅力ー「近代」上海の「伝統」とファッション

■講師と講演内容

シャ
レイ
謝 黎

文化人類学・放送大学非常勤講師

上海出身、昭和女子大学大学院博士課程学位取得修了、博士（学術）。

在学中アジアの布に惹かれ、チャイナドレス（旗袍）の研究と収集をはじめた。不定期だが、ギャラリーでコレクションを企画展示し、その魅力を多くの方々に紹介するとともに、著書『チャイナドレスをまとう女性たち-旗袍にみる中国の近・現代』では、文化人類学的な視点からチャイナドレスを取り上げ、その多様な性格を史料を通して網羅的に分析し、「近代」中国におけるファッションと「伝統」のあり方を検討している。

中国の伝統文化と西洋の近代文化が溶け合う20世紀初頭の上海には、満洲族に起源を持つチャイナドレスが誕生した。後に、「民族」の枠を超えたモダンファッションとして、女学生、近代主婦、女優、娼婦の間で流行した。現在でも、魅力あるファッションの一つとしてその愛好者が多い。講演では、実物や映像資料を通してチャイナドレスの魅力を感じてもらいながら、「近代」上海の「伝統」とファッションのあり方を考える。

大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科 アパレル専攻・化粧文化専攻

■申込み先・申込み方法

電話・FAX・E-mailにて1月24日(木)までお願いします。

電話・FAX：06-6723-8227

E-mail：fashionseminar@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭ファッションセミナー事務局

〒577-8550 東大阪市菱屋西 4-2-26 大阪樟蔭女子大学・被服学科内



メールアドレス

小阪キャンパスへのアクセス

●大阪方面から／[JR環状線]大阪駅⇒鶴橋駅[近鉄奈良線]⇒河内小阪駅(30分)
近鉄奈良線・河内小阪駅下車西へ 徒歩3分

●駐車場はありません。お車での来場はご遠慮ください。



KOSAKA
Campus

URL <http://www.osaka-shoin.ac.jp>

TEL 06-6723-8181(代表)